

令和 7 年 10 月

カ ム ラ ー
CCAMLR (南極の海洋生物資源の保存に関する委員会)
年次会合の結果について

1 CCAMLR (南極の海洋生物資源の保存に関する委員会)

南極の海洋生物資源(メロ、オキアミ等)の保存管理を目的とする国際機関。メンバーは、日本、豪州、中国、米国、露、EU等26か国・1地域。

2 日時・場所

10月20日(月)から10月31日(金)まで、ホバート(豪)で開催。

3 我が国出席者

森下農林水産省顧問(我が国代表)ほか、水産庁、外務省、経済産業省、国立研究開発法人水産研究・教育機構及び業界からの関係者が参加。

4 結果

- (1) 次漁期(2025年12月から2026年11月)のメロの漁獲上限が合意。我が国の漁船(メロ底はえ縄船1隻)が近年主に操業している海域(48.6海区)の総漁獲上限は713トン(前漁期:595トン)となった。
- (2) 南極海の一部を海洋保護区(MPA)とする提案等が改めて議論されたが、合意には至らず、継続協議となった。
- (3) 次回の年次会合は2026年10月にホバート(豪)で開催予定。